

## 道徳「ぼくのしごと」

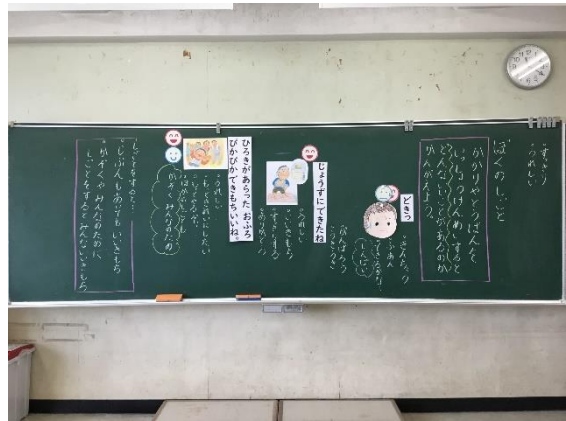
今年度、上矢部小では道徳科の重点研究を進めています。9月8日に2組の又井級で研究授業が行われました。

道徳科の学習は、よりよい自分へと成長していくために大切な気持ちや考え方などについて、みんなで話し合い、考えを広げたり深めたりする時間です。子どもたちがめあてを自分事としてとらえ、大切な気持ちや考え方に気付けるように、日々の授業の流れを考えています。

研究授業の前には、1組と3組でも又井先生が同様の授業を行いました。子どもたちは、いつもと違う環境に緊張する様子もありましたが、自信をもって発言する姿が見られ、授業後には「楽しかった!」と満足げに話していました。

学習を通して、「自分の仕事を一生懸命がんばると、自分も相手もいい気持ちになること」「家族やみんなのために仕事をすると気持ちがいいこと」に気が付きました。この学習の後、より一層はりきって仕事に取り組む子どもたちの姿が見られます。ご家庭でも、道徳科で学んだ気付きが活かされていることを願っています。

### ～3組での事前授業の様子～



### ～2組での当日の授業の様子～

